

## 第1回吹田市総合計画策定委員会会議録概要

- 1 日 時 平成23年7月27日(水)午前10時から11時
- 2 場 所 吹田市役所高層棟4階特別会議室
- 3 出席者 富田副市長、山中副市長、牲川病院事業管理者、太田政策企画部長、川下総務部長、平野政策推進部長、赤野危機管理監、岡本財務部長、吉見自治人権部長、西山産業労働にぎわい部長、赤松児童部長、門脇福祉保健部長、羽間環境部長、竇田都市整備部長、森建設緑化部長、重井下水道部長、松中消防長、梶谷地域教育部長、原田体育振興部長、川本学校教育部長次長(西川学校教育部長の代理出席)、曾呂利市民文化部市民生活室長(吉川市民文化部長代理出席)、中矢水道部経営室参事(清多水道事業管理者の代理出席)、五竇政策推進部次長、木下総括参事、古川参事、十川係員、稲見係員(以上、事務局)

### 4 議事内容

(1) 吹田市第3次総合計画基本計画の見直しについて

(2) 策定に係る庁内組織の全体構成について

(1)(2)について、事務局より概要説明

#### 【質疑応答事項】概要

質問1:見直し後の基本計画で、達成度を示す指標の設定として数値を盛り込むかどうか。また、各実施計画の各施策体系ごとに全部目標値を設定するのか。

回答1:各部署の課題の種別、見方、年度も異なることを踏まえ、今後検討する。

質問2:作業部会員の公募部会員の募集について、職員にとって良い機会だと思うので、各部会2名以上の参加でもいいのでは。

回答2:逆に希望者がいるかを心配しており、意欲的な職員に参加を促してもらいたい。

質問3:公募による作業部会員の参加希望職員は、自分と関連する作業部会にしか参加できないのか。

回答3:本人の希望をできるだけ尊重するようにする。

質問4:作業部会員の公募部会員は国の機関に出向している方は、戻ってきてから入ることができるのか。

回答4:弾力的に扱えるようにする。

質問5:各部の検討会議について、「いつ何をするのか」また、実態になじむものなのか。

回答5:9月には作業部会を開催させてもらう。平行して、各部の検討会議を設定してもらう。その時に、現状評価等の作業チェックシートを作り、各部の検討会議でまず検討してもらい。その後、作業部会に上げて全体の調整をまとめていくスタイルをとる。また、単なる照会・回答で済むものとならないように、照会をして、それを基に議論してもらいたい。

質問6:各部検討会議に照会をする予定の作業シートについて、策定委員会で配付してもらった方が庁内文章として配付するよりいいのでは。

回答6:策定委員会で、一度説明をして、意見を聞いて、その後配付するよう検討する。

質問7:雛形(各部検討会議設置基準)を作っているが、もう少し柔軟な作り方をしたほうが良いのでは。

回答7:柔軟になるようにする。

質問8:各部検討会議の若手職員という表記について、作業部会設置基準と同じで39歳以下なのか。

回答8:今は何も定義づけしていない。

(3) その他

市長との事前に行なった協議内容について、政策企画部長より概要説明

- ・基本構想についても検証する必要があるという認識で、総合計画の見直しに取組んでいくこととする。